

2020年度 長崎県バスケットボール協会 育成センター（DC）U12実施計画

（一社）長崎県バスケットボール協会
ユース育成委員会

1. 育成センターの目的

県協会ホームページ掲載の「都道府県育成センター活動における方針について」を参照してください。

2. DCブロック分け

※下記、カッコ内は2019年度登録チーム数

ブロック	対象地区（U12地区部会）			
	男子		女子	
県選抜	県下全域		県下全域	
県南	長崎(33) 西海・西彼(11) 下五島(4)	計48	長崎(33) 西海・西彼(13) 下五島(5)	計51
県央	諫早・大村(16) 島原(10) 対馬(4)	計30	諫早・大村(14) 島原(13) 対馬(4)	計31
県北	佐世保(18) 県北(2) 上五島(3) 壱岐(3)	計26	佐世保(19) 県北(3) 上五島(3) 壱岐(3)	計28

3. 選手選考

県下のJBA登録チームに所属する選手（2020年度における6年生または5年生）の中から、以下の方法で選考を行う。

(1) 1次選考（ブロックトライアウト）

■ 2020年2月下旬までに、各ブロックまたは地区において所定人数（下表参照）を選考する。

ブロック	対象地区（U12地区部会）			
	男子		女子	
県選抜	県下全域		県下全域	
県南	長崎(13) 西海・西彼(6) 下五島(2)	計21	長崎(13) 西海・西彼(6) 下五島(2)	計21
県央	諫早(4) 大村(5) 島原(6) 対馬(2)	計17	諫早(4) 大村(5) 島原(6) 対馬(2)	計17
県北	佐世保(11) 県北(2) 上五島(2) 壱岐(2)	計17	佐世保(11) 県北(2) 上五島(2) 壱岐(2)	計17

■ 本人の参加意思があることを前提とするため、トライアウト方式が望ましい。

■ トライアウトは、DCブロック単位での開催を基本とする。

ただし離島地区においては、ブロックトライアウト・地区部会での単独トライアウト・地区部会からの推薦、の中からその選考方法を各地区部会で決定する。推薦の場合、本人の参加意思を必ず確認すること。

■ 地区部会において単独トライアウトまたは地区推薦を行う場合、ブロックトライアウトの所定人数から地区の所定人数を差し引くこととする。

■ トライアウトでの選考は、DCスタッフに加え、地区部会から少なくとも1名以上の役員が選考に関わることとする。

■ トライアウトに参加する場合、受益者負担の原則に準じて参加費・交通費は自己負担となり、通過した場合は2次選考に参加することとなり、その費用も同様とする。

■ 前年度DC選手として選出されていた5年生も、今年度DCへの参加意思がある場合は、1次選考（ブロックトライアウト）に参加すること。自動的に選出されることはない。

■ 上記所定人数に加えて、次点候補選手を数名決定しておき、3次選考（追加選考）の対象とする。そのため、参加意思がある選手は1次選考に参加することを推奨する。

◎ 上記にて1次選考を通過した選手は、下記2次選考に参加することとする。

(2) 2次選考（県選抜選手の選考）

■ **2020年8月22日・土**、県選抜DC選考会を開催

■ 1次選考選手の中から、【男女各20名程度】を選考する。県選抜DCスタッフを中心に、全DCスタッフで担当する。

■ 県選抜DCに選考されなかった選手は各地区DCで活動することとなるが、そのことに2次選考に参加する選手は同意していることを前提とする。（県選抜に通過しなかったら辞退することは認められない）

(3) 3次選考（追加選考）

■ 2次選考を経て地区DCに決定した選手人数に応じて、残り枠の人数を追加選考する。

→ その結果、各地区での活動人数は、以下の通りとする。（多少の増減あり）

【DC活動選手数】

男子	県選抜	20人	女子	県選抜	20人
	県南地区	25人		県南地区	25人
	県央地区	20人		県央地区	20人
	県北地区	20人		県北地区	20人
	合計	85人		合計	85人

(4) その他

■ トライアウトは、チーム指導者の同意の上での申込みとする。

■ 怪我・病気などの止むを得ない事情でトライアウトに参加できなかった選手の中で、地区部会およびDCスタッフからの特別な推薦がある場合は、個別に追加選出する場合がある。

■ 各地区DCから県選抜DCへの昇格推薦を年度途中で検討する。

4. DCスタッフ

(1) 各ブロックごとの指導スタッフおよび総括責任者

ブロック	役割	男子		役割	女子	
県選抜	総括	松尾 久史	長崎市立小江原小学校	総括	山口陽一郎	長崎県U12部会
	HC	徳永 和裕	小ヶ倉スポーツ少年団	HC	黒瀬 和子	緑丘ローバー
	AC	松下 紘隆	長崎市立大園小学校	AC	長田 聖也	長崎市立上長崎小学校
	MG	浦田 優	長崎市U12部会	MG	山越 翔陽	喜々津クラブ
県南	HC	佐藤 雄亮	長崎市立高尾小学校	HC	中村 一豊	長崎市立村松小学校
	AC	山中 謙滋	長与町立洗切小学校	AC	濱本 直哉	西海市立ときわ台小学校
	MG	谷口 譲	長崎市立戸町小学校	MG	松尾 久史	長崎市立小江原小学校
	MG	古川 雄策	長崎市立愛宕小学校	MG	吉村 雅	長崎市立愛宕小学校
県央	HC	中村 健太	諫早市立諫早小学校	HC	村田 洵	諫早市立喜々津小学校
	AC	下田 大輔	南島原市立大野木場小学校	AC	大木幸一郎	大村市立富の原小学校
	MG	松竹 正三	大村市立大村小学校	MG	吉田 宗生	南島原市立深江小学校
	MG	小池 伸明	諫早市立上山小学校	MG	木村 修	大村市立放虎原小学校
県北	HC	渡邊 忍	佐世保市立相浦西小学校	HC	下田 久美	佐世保市U12部会
	AC	山口 政剛	佐世保市立木風小学校	AC	松富 広樹	佐世保市立大野小学校
	AC	一ノ瀬 祐	港クラブ	MG	芦塚啓太郎	佐々町立口石小学校
	MG	大坪 聡菜	清水男子ミニバスケットボール			

※人事異動に伴い、変更となる場合があります。

(2) スタッフ及び役割について

- HC (ヘッドコーチ) 練習プログラムの作成、指導
- AC (アシスタントコーチ) 練習プログラムの作成、指導、HCの補佐
- MG (マネージャー) 指導、HCの補佐、事務業務 (会場、連絡、書類、費用、など)
- ※ スタッフは3名編成が基本だが、各ブロックにおいて指導スタッフを4名編成にすることがある。(検討中)
- ※ 勤務先での異動等に伴い、スタッフ変更を検討する場合がある。
- ※ 任期: 2~3年 (JBA基準では1年任期だが、特段の事情がない限り、原則複数年とする)
- ※ 若手指導者の育成となることも目的の1つとする。

5. 活動計画 (予定)

回	期 日	形 態	備 考
1	5月16日(土)	県選抜選考会	選考会 兼 スタッフ会議
2	6月20日(土)	DC U12練習会①	練習会
3	7月18日(土)	DC U12練習会②	練習会
1	8月22日(土)	県選抜選考会	選考会 兼 スタッフ会議
2	9月12日(土)	DC U12練習会①	練習会
3	10月17日(土)	DC U12練習会②	練習会
4	12月19日(土)	DC U12練習会③	練習会
5	1月16日(土)	地区合同練習会④⑤ (練習会2回分)	地区合同練習会
6	2月20日(土)	DC U12練習会⑥	練習会、U13への移行
-	3月6日(土)	次年度県選抜選考会 兼 DC指導者研修会	スタッフミーティング

- 1回あたり3時間とする。年間6回。原則、毎月第3日曜の前日 (土曜、9月は第2週)。
- 練習会場 県選抜DC: 可能な限り、順番に各地区で開催する 地区DC: その地区内で開催
- 2021年2月までに、次年度の1次選考 (トライアウト) を各地区にて開催する。

6. 選手の参加

- (1) 所属チームおよび個人がJBAに登録して活動していること。
- (2) 選手は育成センター活動 (DC) を優先する。
- (3) 全国大会やそれに準ずる公式戦の予選等と日程が重複した場合は、チームの活動を優先できる。
- (4) 学校行事による欠席は認める (必ず事前にスタッフに連絡する)。
- (5) 1回の練習会につき、参加料【1,000円】を徴収する。(受益者負担の原則、保険料は含まない。要・個人加入。)
- (6) ボールや飲料は各自で持参する。
- (7) 離島の選手に対して、練習会参加回数等の配慮を行う。原則、参加費・交通費・宿泊費等は自己負担とするが、全体の予算しだいで補助金を支給する場合がある。
- (8) 無断欠席や意欲が低い選手、スタッフの方針に従わない選手は、DCへの参加資格を取り消されることがある。
- (9) チームの指導者が故意的に選手の参加を妨げる場合は【ペナルティ (協会事業への参加制限など)】もあり得る。
- (10) マルフアン症候群の選手は本事業に参加できない場合がある。

7. 指導内容

- (1) JBA技術委員会より提示されたJBA育成方針に基づいた内容で行う。
- (2) 勝つためのチーム作りではなく、個の育成を主眼とする。
- (3) コーチ研修会の実施（指導者対象の研修会を各カテゴリー合同で実施）。

8. その他

- (1) 県選抜DCは、他県との合同練習会（対抗戦含む）開催も検討する。
- (2) 次年度のDC U14へ、U13推薦選手として数名を推薦する。
- (3) 動画等の撮影は、指導内容共有、個人で利用する目的として許可するが、SNS・インターネットへの配信は禁止する。

以上

<補足資料>

長崎県育成センター（N-DC）育成方針・選手心得

心	<ol style="list-style-type: none">1 礼節があり、態度や行動が素直であること。2 苦しいとき、困ったときでも前向きに頑張れること。3 コミュニケーション力や協調性があること。4 感謝の気持ちを持ってプレイすること。5 現状に満足せず、向上心を持ち続けること。
技	<ol style="list-style-type: none">1 1対1の攻防を好み、イニシアティブをとれること。2 オフェンス力だけでなくディフェンス力があること。3 ファンダメンタルズがあること（フットワーク、パッシング、ドリブル、シューティング、ハンドリング能力）。4 バスケットIQ（個人の戦術理解力）があること（瞬時にゲーム状況を読める、予測力、スペーシングの理解）。5 速い攻防の中での状況判断力があること。
体	<ol style="list-style-type: none">1 トランジション能力（走る力、止まる力）があること。2 跳ぶ力、投げる力があること。3 あたり負けせず、コンタクトを好むこと。4 柔軟性に優れ、クイックネスがあり、体幹が強いこと。5 トレーニングや栄養・食事にも意識して取り組むこと。

<留意点>

- 1 学業との両立を図るよう努めること。
- 2 生活面など他の生徒や選手の模範となるよう努めること。
- 3 県・地区の選抜選手として常に自覚を持った言動が取れること（自らの言動に責任を持つこと）。
- 4 選抜選手としておごることなく、自チームでの活動においてリーダーシップを発揮すること。
- 5 マルフアン症候群の選手は、DC活動には参加できません。

2020年6月10日 改訂